

せりざわ正子の 新市議会だより

〒270-1164 我孫子市つくし野 7-23-11
TEL (7183) 0065

芹澤 正子

ホームページ「せりざわ正子の目指す街」
<http://serizawa77.g2.xrea.com/>

「日本維新の会」
ここで私もがんばる！



身を切る改革
維新だからできる

令和元年9月議会 代表質問 から

◆ 地震・水害などの災害に対して、市はどれだけ備えができていますか？

たくさん聞いてみました

既にご存知の通り、今後30年間で、【首都直下地震】と【南海トラフ地震】は、発生確率が70%～80%になっている。更に、2019年2月に、政府の地震調査委員会は、東北から関東地方の日本海溝沿いの海域で、今後30年間に、マグニチュード(M)7～8の大地震が起きる可能性が高いとする予測を公表した。関東地方では、【茨城県沖】のM7～7.5程度が「80%」、首都圏に近い【房総沖】についても、M6.7～7.3程度が「70%」と、それぞれ高い確率が予想されている。

【国土強靱化計画】とは、例えばどんな災害が発生しても、被害を最小限に抑え、迅速に復旧・復興できるしなやかさを備えた国土・地域・経済社会を構築する計画。

≪基本目標は4つ≫ ①人命の保護が最大限図られること ②国家及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けずに維持されること ③国民の財産及び公共施設に係る被害の最小化 ④迅速な復旧復興。

Q：我孫子市の「国土強靱化アクションプラン2018」については？

A：内閣官房が2014年度から毎年度定めている。市も、同様である。

Q：我孫子市の災害発生時の、市役所業務が継続して行える割合は？

A：平成26年3月に、100%として策定した。



◆ それでは【我孫子市地域防災計画】は、どうなっていますか？

Q：我孫子市で想定される地震として ①茨城県南部地震(M7.3) ②東京湾北部地震(M7.3) ③我孫子市直下の地震(M6.9) の3つがある。いつからこの想定か？

A：以前から「市に影響のある想定地震」としてきたが、「地震被害を計画の前提とする被害想定」としたのは、【我孫子市地域防災計画】平成27年度修正分から。

Q：想定する物的被害・機能障害・人的被害(うち想定避難者数)等の状況は？

A：物的被害想定としては、古い建物を中心とした全壊・半壊の被害や、住宅密集地で火災が発生した場合の延焼の拡大、停電、断水、ガス、電話の不通の発生を想定。想定避難者数は、最大人口の20%(現在2万7千人)と見込んでいる。

Q : 風水害・土砂災害・竜巻災害・火山災害の想定の概要は？

A : 風水害の想定は、利根川、手賀川・手賀沼が大雨によって増水し、堤防が決壊した場合を想定している。土砂災害については、長時間降雨によるがけ崩れを想定。竜巻は、局地的に発生する竜巻を。火山災害については、富士山と浅間山の噴火による、各2センチメートル程度の降灰を想定。

Q : 大規模火災・航空機災害・危険物等災害・鉄道災害・道路災害・大規模断水は？

A : 大規模火災は、市街地の延焼や多数の死傷者が発生した場合。航空機事故は、市域において航空機の墜落・炎上により多数の死傷者を伴う大規模な災害が発生した場合。危険物等災害は、危険物・火薬類・高圧ガス・毒物・劇物・指定可燃物等による災害の発生。鉄道災害は、列車の衝突・脱線等による事故。道路災害は、橋りょうの落下、斜面及び擁壁の崩落等の被災、危険物を積載する車両の事故。大規模断水は、水質事故等による断水。以上を其々想定している。

Q : 放射性物質事故、原子力施設事故の想定概要は？

A : 国の原子力災害対策指針では、原子力施設から概ね半径5～30km以内にあるUPZ(緊急防護措置区域)圏内の市町村は、広域避難計画が必要。我孫子市は、UPZ圏内ではないため、地域防災計画では、放射性物質取扱事業所における事故を想定している。

Q : 「避難行動要支援者」対象者の現状と課題は？

A : 市が保有している人数は、4,907人。協定を締結した自治会は18。支援の中心になる共助について、名簿提供自治会数の増加に努めていく。

Q : 避難所運営(開設)体制の検討の状況・課題を伺う。

A : 自主運営が原則。市では、避難所運営訓練を全13小学区ごとに実施中。

Q : 市内事業者の自主防災組織の現状・課題をお尋ねする。

A : 確認していないが、現在135組織が結成されている。

Q : 防災拠点施設の整備のうち、地域防災拠点として全小学校13校。防災備蓄倉庫の整備状況と今後の課題は？ 又、備蓄目標の現段階での達成率は、何%か？

A : 現在11校に整備。残り2校の整備を図ると共に拠点機能の更なる充実に努める。市民や事業所の食糧等の備蓄については、市広報やHP等を活用し周知を図る。

Q : ペット同行避難への新しい対応と、留意点は？

A : 国の指針に基づき、従前よりペットとの同行避難を推奨し、グラウンド等の生活場所とは異なるペット専用スペースを設けていた。平成30年度の修正において、更に市内5箇所の指定避難所内にペット同伴で、生活可能な屋内でのスペースを指定した。

再Q : (第一小・高野山小・湖北台西小・湖北台東小・布佐小)以外のへ増設は？

再A : 今後も対策を進める。

Q : 洪水時・土砂災害時における要配慮者利用施設について、避難訓練の実施が義務化されているが？

A : 水防法に規定される施設が25施設、土砂法に規定される施設1施設を地域防災計画に指定している。



Q : 市民からの要望による**(仮称)自主避難所**について教えて。

A : 台風接近や、長時間降雨による内水被害や土砂災害の発生が懸念される場合等に、市民からの問い合わせ状況や気象予測などを考慮した上で、防災担当部長の判断により事前の避難を希望される方を対象として開設する避難所のこと。

Q : **放射性物質事故**への対応とは、どのような状況か？

A : 放射性物質事故は、取扱い事業所の事故を想定している。事前の施設の把握や、応急活動体制の整備を図ると共に、放射線モニタリング等活動や、近隣住民への広報活動などの応急対策について定めている。

「我孫子市国民保護計画」は、平成19年3月に、**武力攻撃事態や大規模テロ**等の際に市民の生命、身体及び財産を保護し、被害を最小限にとどめるために、住民の避難に関する措置や、避難住民の救援などについて定めたもの。

平成30年度には、北朝鮮の弾道ミサイル発射の頻発、世界各地でのテロの発生等、国民保護事案への備えという観点から、国民保護体制を実効性の高いものにしておく必要があるため**一部修正**した。年1回の "**Jアラート**" を含め、年に数回の訓練を実施。

◆ 治水対策はしっかりと継続中

Q : 後田樋管改築工事と柴崎地区築堤工事は、8月31日に完了し、見学会を行った。現在ある仮の調整池の今後は？

A : しばらくそのまま利用する。



後田樋管建屋の中で

子どもの学習支援、もっと広げて

Q : 各学区ごとに、放課後学習室の設置を要望する。

A : 検討していく。

嘉納治五郎氏を「我孫子市文化スポーツ栄誉章」に

Q : 市と嘉納氏親族との濃密な60年間があったが、再度検討は無理か？

A : 残念だが...

せりざわ正子の市政報告会



❖日 時 2019年 10月 9日(水)
13時30分~16時(予定)

❖場 所 我孫子市北近隣センター
並木本館 多目的ホール

❖来 賓 星野順一郎市長 (13時40分頃)

今回は、2部の申込はありません。
休憩時間にお茶を飲みながら懐かしい歌を歌いましょう。
みなさまのご参加をお待ちしています！！



日本維新の会

8年前、みんなの党公認で2期目の当選を致しました。党の解散後は、政党に所属せずに活動して参りました。ホームページは、今春、大幅に変更致しましたが、現在も主張（タイトル：再度政治の場に立つ）というページだけは、そのままです。みんなの党では、沢山の学びがありました。3.11当日、たまたま帰郷していた私は郡山市で被災し、ビッグバレットふくしまに富岡町・大館村から強制避難させられてきた千人以上の方々の現状を目の当たりにしました。後日、東京の憲政会館で、“支援を急いで下さい。長く続けて下さい”と意見を述べたり、後日、党の女性局の仲間と被災地訪問も致しました。又、みんなの党地方議員の中から20数人(内女性は2人)で表彰を受けてTV報道されるなど誇らしい経験もし、仲間の選挙にあちこち、時には名古屋まで応援に駆けつけたりもしました。この夏、日本維新の会から入党の打診を受けて、私なりに検討し9月半ばに結論を出しました。日本維新の会では、「身を切る改革」を実践しています。年収1千万円以下の地方議員の場合は、報酬月額1割、国会議員は月額18万円を被災地に送金しています。私の場合、今回当選できたら、月額4万4千円を送金することを、党の千葉県支部の面接時にしっかり確認されました。日本中、あちこちが被災地となっています。私は、これからは、日本維新の会の仲間と一緒に、更に厳しくなっていく我孫子市の財政改革と議員定数削減・男女を同数に等にもしっかり取り組んでまいります。

せりざわ正子のプロフィール・経歴・その他の活動・所属団体

プロフィール

- 1945年 浦和市で生まれる
- 1963年 福島県立郡山商業高校卒業
日本生命保険相互会社郡山支社勤務
- 1967年 上京し、津田英語会で英会話を学ぶ
- 1968年 東京都御茶ノ水職業訓練所英文タイピスト科修了
新浅野海運(株)勤務 婚約
- 1969年 (株)蝶理勤務 結婚
- 1974年 我孫子市に転入
- 1976年 せりざわ珠算塾を開業
- 1994年 長男(早大生)と共に少人数制の総合学習塾を開設
(英検準会場)
早大オープンカレッジから、大学生と一緒に UCLA
に短期語学留学
せりざわ学院と改名
- 2002年 市川房江「政治参画セミナー」受講
- 2003年 我孫子市議会議員初当選
教育福祉常任委員、都市建設公社評議員、都市開発公社評議員
総務企画常任委員、環境審議会委員
- 2011年 11月 我孫子市議会議員 二期目当選
総務企画常任委員
我孫子市都市計画審議会委員
自治基本条例審査特別委員会委員
- 2015年 11月 我孫子市議会議員 三期目当選
教育福祉常任委員会 副委員長
予算審査特別委員会副委員長
- 2017年 12月 総務企画常任委員会 委員長

過去の経歴など

- 我孫子市総合計画審議会委員
- 我孫子市男女共同参画社会づくり推進懇談会委員
- 千葉県女性センターを考える会事務局

あびこ女性会議代表

- 我孫子市男女共同参画情報誌”かがやく”編集委員
- 千葉県ボランティアコーディネイター
- ネットワーク ”翔 21” 代表
- 平成研究会会長
- 「南北自由通路の建設を進める会」発起人代表

その他の活動

- 2人の子育て中、並木保育園、根戸小学校、並木小学校、久寺家中学校、二松学舎大附属沼南高校で、保護者会役員やPTA規約の提案者、PTA委員や議長など
- ボーイスカウト我孫子3団団委員
- ガールスカウト千葉県第45団団委員
- 都自治会副会長
- 日米草の根交流サミットヒューストン大会コア・ボランティア
- 日米草の根交流サミット千葉大会監査

所属団体

- 市川房江記念会維持員
- 山階鳥類研究所賛助会員
- 鳥の博物館友の会会員
- あびこ野鳥を守る会会員
- 岡発戸・都部の谷津を愛する会会員
- 手賀沼水生生物研究会会員
- アルバトロスヨットクラブ会員
- 千葉ろう重複施設をつくる会会員
- NPO 我孫子市手をつなぐ育成会賛助会員
- 我孫子女性防火クラブ会員
- あびこ国際交流協会会員 (2018年顧問)
- あびこガイドクラブ会員
- 我孫子の文化を守る会会員
- AAFC (我孫子オーディオファンクラブ) 会員
- あびこ洋蘭の会会員
- 我孫子 ESS 会員
- 木曜英会話会員
- 自然エネルギーをすすめる我孫子の会会員(平成29年度～)